

報告事項 竹の内産廃処分場における令和元年台風第19号被害について

1 処分場の浸水状況

処分場に設置している雨量計によると、雨が降り出した令和元年10月12日(土)午前0時から、雨が降り止んだ令和元年10月13日(日)午前2時まで(26時間)で、308.5mmの降雨を記録した。(過去5年間の平均年間降雨量は1,206mm)

焼却施設解体工事の現地事務所に残った浸水の痕跡から、処分場入り口付近では、最大2メートル程度の浸水が生じていたと考えられる。

処分場の東側の排水側溝沿いにも浸水の痕跡が見られ、処分場の周辺を含めると黄色の範囲が浸水したと推定される。(推定浸水範囲図参照)

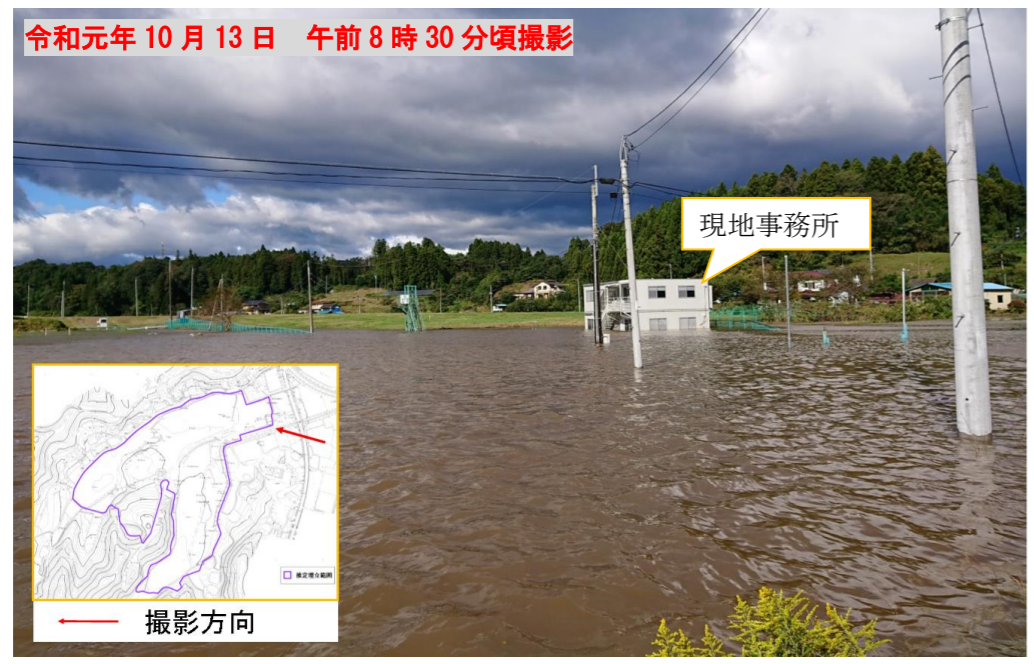
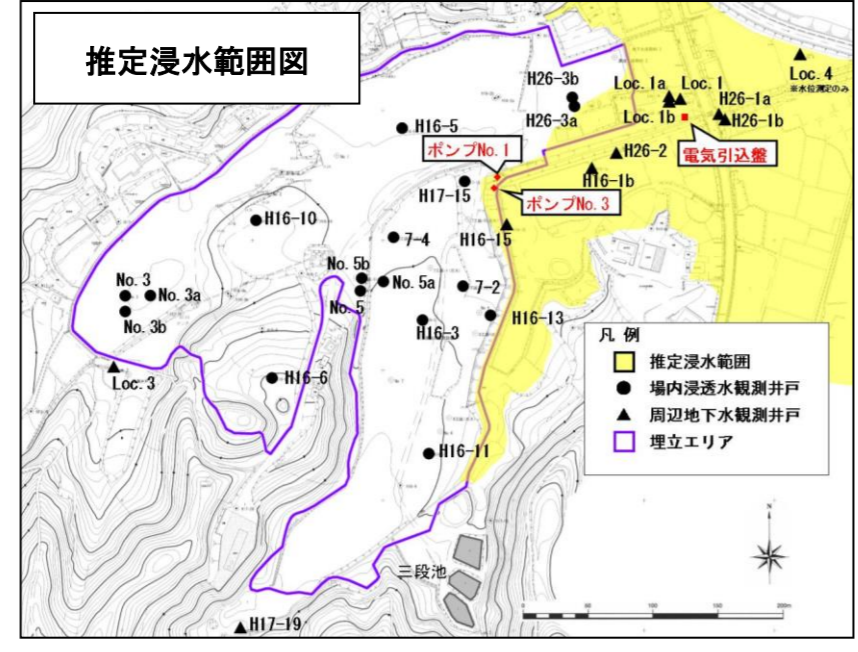


写真1 処分場周辺の浸水状況

2 処分場内設備の被害状況等

浸水により、電気引込盤と三段池(浸出水処理池)に送水するためのポンプ制御盤2基が故障した。

この被害で、本来配管により集水しポンプアップして三段池に送水される浸出水が、三段池での浮遊物沈殿の過程を経ずに処分場内の側溝に流れたが、処分場内浸透水の調査項目は放流水の基準に適合しており、環境への影響は概ねないものと考えられる。

また、ポンプアップできないことにより側溝に溜まった鉄分を回収処理した。

なお、多機能性覆土やガス処理施設などに被害は生じていない。



写真2 送水ポンプNo.1制御盤 (赤線: 浸水位置)

3 硫化水素ガスモニタリング機器の被害及び欠測状況

処分場に設置している硫化水素ガスモニタリングステーションが配電盤の浸水により停電し、村田第二中学校に設置している硫化水素ガスモニタリングステーションも床上約50cmの浸水で測定機器が故障したため、データが取得できない欠測期間が生じた。

【欠測期間】

- ① 処分場 令和元年10月12日午後8時57分から同11月5日午後2時44分まで
- ② 村田第二中学校 令和元年10月13日午前2時26分から(現在復旧に向けて作業中)



写真3 硫化水素ガスモニタリング機器浸水状況 (赤線: 浸水位置)



写真4 村田第二中学校周辺の状況

4 台風後に実施したモニタリング調査結果について

令和元年11月6日に河川水水質調査、浸透水及び地下水水質調査を実施した。

浸透水は一部の観測井戸で鉛、砒素、1,4-ジオキサン及びBODが地下水等検査項目基準、ふっ素及びほう素が地下水環境基準を超過したが、それ以外の項目は基準に適合していた。鉛においては、H16-11でこれまでの最高値よりもわずかに高く検出されたが、他の調査地点、調査項目と同様、これまでの変動の範囲内であると考えられる。

周辺地下水は、Loc.1bにおいて鉛がこれまでの最高値よりもわずかに高く検出されたが、他の調査地点、調査項目と同様、これまでの変動の範囲内であると考えられる。

調査地点	鉛	基準値	これまでの最高値	ろ液※(参考値)	浮遊物質(参考値)
H16-11 (浸透水)	0.017	0.01 以下	0.010 (平成23年2月)	0.002 未満	39
Loc.1b (地下水)	0.031		0.029 (平成18年6月)	0.006	19

※ 浮遊物質による影響をできるだけ排除した値とした参考値

(単位: mg/L)

5 施設の復旧状況

- 令和元年 10月16日 電力量計の交換
- 10月21日 通電状況の確認・処分場内気象計の復旧
- 11月 5日 処分場内硫化水素ガスモニタリング機器の復旧
- 11月23日 村田第二中学校側の気象計の復旧
- 12月26日 電気引込盤ブレーカーの交換・送水ポンプ制御盤の復旧
- 令和2年 3月中旬 村田第二中学校側の硫化水素ガスモニタリング機器復旧予定